

2024年度 恵星幼稚園「保護者アンケート」結果

2025年2月に行った保護者アンケートの集計結果とご質問やご要望に対する園としての回答を公開いたします。
いただいた内容は全職員で共有し、評価内容をきちんと受け止めて今後の保育に反映していきます。

A：よくできている B：だいたいできている C：あまりできていない D：全くできていない

| | 内 容 | A | B | C | D |
|----|--|--------------|-------------|-----------|---|
| 1 | 子どもは、幼稚園での生活を楽しんでいる。 | 51 (93%) | 4 (7%) | | |
| 2 | 幼稚園は、キリスト教保育を通して「見えないものに目を注ぐ心」や「人を思いやる心」が子どもの中に育つよう心がけている。 | 51 (93%) | 4 (7%) | | |
| 3 | 幼稚園は、子どもの自主性や意欲を大切にする教育活動をしている。 | 53 (96%) | 2 (4%) | | |
| 4 | 幼稚園は、子どもたちが喜んで身体を動かして遊ぶよう努めている。 | 53 (96%) | 2 (4%) | | |
| 5 | 幼稚園は、手洗い・うがい、水分補給などの健康管理に必要なことが子どもに伝わるよう保育をしている。 | 39 (71%) | 15 (29%) | | |
| 6 | 幼稚園は、食育を通して子どもたちの食に対する興味・関心を深め、郷土の文化を継承することや食事マナーの大切さを伝えている。 | 53 (96%) | 2 (4%) | | |
| 7 | 幼稚園は、縦割保育の実践を通して子どもたちが異年齢での関わりを深め、さまざまな子がいることを認めながら互いに成長を喜び合える環境をつくっている。 | 55 (100%) | | | |
| 8 | 幼稚園は、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えるよう努め、あたたかい雰囲気とする。 | 52 (93%) | 3 (7%) | | |
| 9 | 幼稚園は、園だより、クラスだより、絵本ノート、保護者会、各行事などを通して、教育方針や具体的な取り組み方を保護者に分かりやすく伝えている。 | 46 (84%) | 9 (16%) | | |
| 10 | 幼稚園は、保育参加・各行事・ボランティアなどの保育の公開の場を出来るだけ設けて保護者に幼稚園を理解してもらおう機会をつくっている。 | 50 (91%) | 5 (9%) | | |
| 11 | 幼稚園は、未就園児の親子参加の会（ひかりクラブ）を通して、地域の子育て支援の場となるように努めている。 | 53 (96%) | 2 (4%) | | |
| 12 | 幼稚園は、子どもの安全を考えた防災訓練や指導を行っている。 | 48 (87%) | 6 (11%) | 無回答 1名 | |
| 13 | 教職員は、協力し合って園児の保育にあたっている。 | 50 (91%) | 5 (9%) | | |
| 14 | 教職員は、子どもにも保護者にも誠実な対応をしている。 | 41 (75%) | 10 (18%) | 4 (7%) | |
| 15 | 保護者として、子どもがこの園に入園して満足している。 | 46 (84%) | 9 (16%) | | |

※集計の数字は人数で、カッコ内はパーセンテージです。小数点以下は四捨五入しています。

※提出された55名分（全保護者57名）を集計しています。

次頁はアンケート（無記名での提出）に記載された保護者のご意見です。個人が特定されるものや伝聞以外のご意見を原文のまま掲載しています。要望や質問には回答をしています。

園の総合的なあり方や子どもの成長について

- 子どもがみんな生き生きしている。先生方が丁寧に接しているのが子どもから伝わってくる。
- 子ども二人ともお世話になりました。共通して感じるのは、思いやりの心が育ち、自分の意見を伝える積極性が身についたということです。先生方が子どもの気持ちを尊重した保育をしてくださっている賜物だと思います。流行に左右されない保育にも安心感があります。ボランティアや保育参加など、子どもの様子を知る手段がたくさんあり、こんなに透明度の高い園は他にないと思います。私の顔を見る度、目をキラキラさせながら子どもの成長を報告してくださる先生もいらして、毎回感無量でした。この園と先生方との出会いは私の宝ものです。
- 三年間通って思うことは、やはり恵星幼稚園の保育の根幹はキリスト教の精神なのだなということです。子どもたちにも礼拝や普段の生活を通してよく伝えて頂いていると感じました。
- 子ども一人一人に寄り添い、見守ってくださる素晴らしい幼稚園に出会えたことを嬉しく思います。転勤族ですが、我が子が卒園するまでは絶対に恵星幼稚園に通い続けたいと思うほど、先生方の子どもたちへのアプローチに日々感謝しています。
- 子どもはとても楽しく幼稚園を過ごしており、成長を感じています。
- 子ども一人一人をよく見てくださっていて、我が子の成長を手助けしてくれていることを日々の生活や、特に行事の時はとても実感しています。キリスト教保育を通して純粋で優しい心が育っていることも良いところだと思います。先生方をはじめ、お友だち、保護者ととても恵まれた楽しい三年間でした。
- 入園して一年で、子どもの成長を様々な面でとても実感しています。この月齢が他の園でもそうだったのかもしれないませんが、それでも恵星幼稚園にして良かったと思えることは親として幸せです。
- 子どもが子どもらしく過ごすことができ、かつこれから先の子どもの自立を見据えて自主性や意欲を伸ばして引き出す方針、そしてそれを実践できている先生方は素晴らしいと感謝しています。

具体的な保育に対して

- 毎日のさくらんぼリズムとはだし保育、健康的な食育メニューで子どもたちの身体が丈夫になってきていると感じます。
- 日本の四季の行事などの工作などがあれば、子どもたちに日本の行事の面白さや興味がさらに持てると思います。ひなまつり、こいのぼり、豆まきなど。
 - ⇒季節の工作は七夕、秋の収穫物での工作(どんぐりこま等)、クリスマスなどは毎年行っています。以前はこいのぼりを作って持ち帰っていましたが、今は入園直後に無理をさせず園に慣れてのびのび遊ぶことを優先しています。(年長児は5月に染物等を行っています) 2~3月は他の行事との関連で「やらなければならないこと」を詰め込み過ぎないようにしています。
- 食育に力を入れていることに感謝しています。園で野菜を育てたり、お友だちと食べたりすることで、苦手だったものが食べられるようになって良いと思います。冬場のおやつ時間がもう少し早いと助かります。
 - ⇒延長保育の時に補食として食べるおやつ(おにぎりなど持参)は外遊びの時間と合わせて冬場は16時からにしています。(夏場は15時半)たまに延長を利用するお子さんで、生活リズムに支障がある場合はご相談ください。
- 子どもが冬に「〇×くんが長ズボン履いてきているから自分も履きたい」と言います。「ハーフパンツという決まりなんだよ」と伝えると、「〇×くんや〇〇ちゃんは履いてきてるよー」と言います。冬は長ズボンでOKになったのなら、お知らせ頂けると助かります。

⇒ご家庭でも園の決まりを伝えてくださってありがとうございます。特別な事情があって事前にご相談があり、長ズボンを履かせて来られる場合もあります。その理由を他の子に教師から説明したりしませんので、お子さんは迷われたのだと思います。基本的に一年中ハーフパンツであることを伝え続けてくださると幸いです。雪遊びをする日などは子どもたちに長ズボンや手袋が必要なことを伝え、保護者にも防寒対策をアプリでお願いしています。

○異年齢の友だちと関わりを深めよく遊んでいる姿を見て、縦割り保育の良さを感じました。先生方も子どもたちと一緒にあそんでくれて大変感謝しております。

少し気になる点としては、子どもが好きなおもちゃ（遊び？）がないということが多々あったので、子どもの興味に合った遊びの環境の変化などです。

年齢に合わせてだと思いますが、もう少し園外に出る機会（お散歩など）やいろいろな人に関わる場があれば良いと思いました。

◆好きなおもちゃについて

⇒必要だと思う遊具（積み木など可塑性のある素材）や工作材料などは十分な量を提供していますが、もしかしたら、お子さんはまだ低学年でうちにあるようなおもちゃ等を求めておられたのかもしれない。縦割りの環境で刺激を受けながらだんだん自分で遊びを創り出す力がついてきますので見守ってください。

◆園外保育や外部の人との関わりについて

⇒安全に道路を集団で歩く力がつくようにリズムや外遊びを重ね、年長になると園外の機会が増えます。花の日や収穫感謝の日に地域の人たちと触れ合います。低学年は安全に歩ける力に個人差も大きく、近隣を散歩することは取り入れています。

今年度はけん玉名人をお呼びし全園児の前で披露して下さる機会を設け、再度来園していただき、子どもたちも大変よろこんでいます。クラスだよりに様子を載せていますので、目を通していただくと幸いです。

○コロナが落ち着いたのに、いつまで平日に3日間ものびっこデーをする必要があるのでしょうか？

⇒以前は土曜日に全園児で行っていましたが、コロナを機にクラスごとに実施したところ、①長く園児席に座ったままの時間が大幅に減った ②観客の人数が減って安心できる子が増えた ③保護者や祖父母も着席して子どもの表情まで見られるようになった という効果があり、子どもたちに負担が少ない分散開催を踏襲している経緯があります。

保護者支援について

○子どものことで悩んでいる時、困っている時に先生方がいつも側で寄り添ってくれます。一緒に悩みを共有して解決策を考えてくれて、私は恵星幼稚園の先生方の存在に助けられています。本当に頼りにしています。親子共に毎日楽しく幼稚園へ通う事が出来て心から感謝します。

○今年度からアプリを導入していただき、とても便利でした！！次月の詳しいスケジュールまで確認出来る点がとても良いと思いました。

先生方の子どもたちと向き合う姿勢がすばらしく、私自身たくさんのお話を学ばせていただきました。恵星幼稚園にお世話になれたこと、親子共々幸せでした。

○転入園で初めは親も子も不安でしたが、すぐに子どもはなじむことができたようで安心しています。のびのびすごせているようで、先生、お友だちに感謝いたします。

○いつ幼稚園を訪れても、先生方が笑顔で挨拶をして下さる。

保護者会の案内、行事の流れや座席表などを事前に教えていただき、見通しを持って参加することが出来る。食育では、園庭で育てられた食材を使用することがあったり、添加物などにも配慮された調味料を使用することで安心できるが、パンの原材料やスープレUNCHの業者、来年度から導入される配膳給食の業者の採用理由やこだわりについての情報を共有してほしいです。（来年度からお弁当が週1回となり、保護者の負担軽減を考えてくださりありがとうございます。）

⇒スープレUNCHと配膳給食の業者の社名を園のホームページにてお知らせします。詳細は各会社のホームページなどでご確認ください。

どちらの業者も採用理由は以下の通りです。

- ①該当曜日に当園までの配達が可能
- ②アレルギー対応が可能
- ③子どもたちが食べられそうなメニュー（全職員が試食）
- ④良心的な食材
- ⑤値段
- ⑥会社の信用度（すでに利用している他園からの情報も含めて）

パン屋さんは複数の教育機関（学校）へも納めているお店で40年ほど前から配達していただいています。

小麦アレルギーなどの方は持参されています。

○恵星幼稚園で過ごした一年間、子どもも親も充実していて、特に子どもは園での生活の中で自主性や創造性が育まれていると感じています。教職員の皆さまが子どもにも親にも誠実に対応していただいていることは間違いないのですが、親は教育保育のプロではないので、皆さまの当たり前や常識が当たり前じゃないかもしれませんので、そのギャップを理解していただき、これからもよろしくをお願いします。

○子どもの良い所や、直した方が良い所など、親が気付かない点を教えていただき本当によく見守っていただけて毎日感謝しています。保護者にも気をかけてくださりありがとうございます！

○いつも真剣に子どもと向き合っていただきありがとうございます。それゆえ、包み隠さず話してくださるので、先生の言葉が直球で、時に悲しくなる時があります。

⇒ご意見ありがとうございます。教師の言葉で悲しいお気持ちにさせてしまいとても申し訳なく思っています。あらためて懇談など保護者への伝え方に対する内部研修を行い、丁寧に対応してまいります。また、一人ひとりの子どもの課題を保育の中で改善できる工夫を続けつつ、経緯をお伝えするようにいたします。

教職員について

○先生方からたくさんの愛情を注いでいただき、家ではできない経験をさせていただき、毎日楽しく園生活を送っています。毎日帰ってくると「今日はねっ」と園でのことを嬉しそうに話をしてくれ充実感でいっぱいの表情に、恵星幼稚園を選んで良かったと思うと同時に、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。また、先生方の雰囲気がとても良く、いきいきと保育されている姿がすてきなと思います。

○短い送り迎えの時間に、担任の先生でない先生も「今日は〇〇したね」「〇〇できるようになったんですよ」と教えてくれたり、どの先生も全園児を把握されていたりと、全先生が全園児を見て下さっていると感じました。

○入園してから三年間、幼稚園が休みの日も行きたがるほど幼稚園が大好きで、毎日笑顔で登園し降園してきてくれたのは先生方のおかげです。一人一人をよく見て下さって、良いところを伸ばして、大切なことをたくさん伝えて下さってありがとうございました。

○一人一人に向き合ったださっている姿を見て、自分自身もこのように向き合っていきたいなあと思いました。

○先生方の子どもに対しての関わり方が素晴らしいです。子どもの心の細かい変化も見逃すことなく、見守る所と関わる所の見極めがすごいです。どの先生も感じが良く、心配事など相談できる雰囲気にとっても助けられました。恵星幼稚園に関わる事が出来てとても豊かな時間を過ごすことができました。

○先生が保護者のことをあだ名で呼んでいたりすることに対して、園の中で誰も指摘する人がいないのが気になっています。3学期の面談の趣旨もクラスによって差があるように感じるので、担任の先生方のフォローやサポートとして、経験豊富な先生が保護者との間に入られたほうが良いのではないのでしょうか。若い先生も「目の上の保護者に話す」という緊張感で言葉がうまく出ないことや、伝えきれないことがあるのは仕方がないことだと思います。日頃子どもたちと関わる姿を見ていない保護者にとっては、先生からのひとことが信頼関係に繋がるので、誤解が生じないように、若い先生を守ってあげてほしいです。

○一部の先生による保護者への言葉遣いに違和感を覚えます。まるでお友だちに話すような口調です。ある程度の距離感が必要かと思います。このアンケートも手書きだと匿名性を感じません。毎週えほんノートを書くため、字で誰かわかると思います。

◆保護者への言葉遣いについて

⇒ご不快な思いをさせてしまい大変申し訳ありません。保護者の方との距離感や言葉遣いに対して反省し、園であらためて話し合い全職員で共有しました。今後は職員間でも注意し合えるような体制にします。

◆保護者面談について

⇒園として必要だと判断した案件については、管理職や主幹教諭が同席することもあります。クラスの個人懇談では話しやすいように陪席していません。保護者の方のお話を充分受け止め傾聴できるよう、職員一人一人が研鑽します。また、課題の伝え方について事前に学習の場を設けます。

◆アンケートの在り方について

⇒来年度以降のアンケートの方法については、これから検討します。

その他

○先生方には子どもたちにしっかり寄り添い、頑張り時には全力で応援していただき、心身共に逞しく成長させていただけて感謝しかありません。

今年度入園式の集合写真がなかったのですが、(子どものためとは思うのですが)この時期しか残せない、子どもの区切りとなる日の思い出として、一緒に入園したお友だちと共に成長を喜び合うためにも一枚は欲しいと思いました。

⇒「子どものためだと思っております…」とご理解くださってありがとうございます。卒園式とは違って、入園式では新入園児が並んで座ってカメラを向くことが難しく、入園式は泣かせずに翌日の登園を迎えることを優先して集合写真は割愛しています。

○イベントの時や送り迎えの時に、あまり見たことのない男性が幼稚園の門の前で立っていることがあり怖かったので、関係者と分かるように対策をしてほしいのと、最近いろいろと事件が多いのでセキュリティーを強化してほしいです。

⇒園内に入る人は、必ずモニターで関係者と確認した上で開錠しています。不審な様子を感じられたら、すぐに園にもひとことお知らせください。次年度に行う引き渡し訓練に向けても保護者の名札を検討します。

○先生方が園児と一緒に楽しんでいる姿を見ると、この幼稚園にして良かったなと思います。

先生方のマスク着用率が高いと「ウイルス感染が増えているのでは？」と話題になります。家庭でも十分気を付けてはいますが、2、3名出た時点で教えていただけると助かります。

先生にもよるのかとは思いますが、苦手な食材がある時は、完食するまでではなく、「苦手な食材をどこまで食べる」といった目標があると、食事の時間が苦痛になることなく、食後に遊ぶ時間も短くならないように感じました。

縦割り保育はとても良いことだと思いますが、横割り保育の時間が少ない様に感じます。

恵星卒の園児は小学生になった時、行き渋りになる子が多々いると耳にしますが、何故なのかと思うと同時に卒園後が気になります。

◆教師のマスク着用について

⇒教師がマスクをする理由は様々(花粉症対策、家族に発熱者が出たなどなど)で、必ずしも園内で感染者が増えた時とは限りません。集団生活であり敏感になりすぎないようにしたいと思っておりますが、法定伝染病が流行ってきた場合は、学級閉鎖を実施する人数になる前に園児のマスク着用などを今後もお伝えしていきます。

◆苦手な食材について

⇒食育やスープランチで配膳前と後に苦手なものや量の調整を行いますが、苦手なものでも少しは口にする機会をつくって食の幅を広げています。食べるのが遅くて「もうおしまいにしていいよ」と促しても、本人が「最後まで食べる」という意志が強いときもあり、午後の遊ぶ時間が少なくなることがあります。

お弁当に入れてくださったものは食べてほしいものだと思いますので、出来るだけ食べるように勧めています。食べられる量を園とご一緒に考えていきましょう。

◆横割りの時間について

⇒横割り(同学年)の時間は年少からつくっており、学年が上がるにつれて横割りの割合は多くなります。基本的には、恵星幼稚園は異年齢混合保育(縦割り保育)を中心としていることをご理解ください。

◆小学校の行き渋りの心配について

⇒恵星を卒園した子に限らず、不登校の低年齢化が進んでいるのは春日市でも発表されています。そのため、一年生の一学期のカリキュラムや生活と幼稚園での年長後半のカリキュラムのすり合わせを行うなどの情報共有を進め、円滑に接続されるよう努力しているところです。他市に就学する園児に関しても、必ず小学校と連携することになっています。不安なことがありましたら、その都度いつでもご相談ください。